

令和 8 年度 第 3 回 教育委員会

日時 令和 8 年 6 月 10 日（水） 15:30～16:30
場所 町公民館（大会議室）【現地視察：綾てるはドーム】

出席者	教育委員	柿田 美香	教育長	高松 公俊
	教育委員	横山 慎子	教育総務課長	佐藤 光久
	教育委員	中神 克寿	社会教育課長	麻生 昌秀
	教育委員	山口 昇	教育総務課主幹	馬場 勇次
			社会教育課主幹	前田 真紀
			教育総務課係長	森本 亜紀
			議事録	古高 望

○開会の挨拶

○教育長挨拶

台風 6 号による大きな被害が学校や幼稚園になかったこと、SNS での生成 AI の影響や使い方への懸念について触れ挨拶を行った。

○教育長事務報告

（教育総務課 係長）

行事経過報告並びに行事計画について、資料に沿って説明を行った。

（社会教育課 主幹）

教育総務課と同様、行事経過報告並びに行事計画について、資料に沿って説明を行った。

（教育総務課 課長）

6 月議会にて、学校で使用する授業用・公務用パソコン計 52 台（小学校 29 台、中学校 23 台）の導入について説明を行った。議会承認を経て本契約が締結され、本格導入に向けた動きが始まっている。

（教育長）

6 月の自治公民館館長会では、今年度の登館日について、学校・各公民館・子供会で打ち合わせを行った。子供会への加入が少なくなっているが、加入していない子供もそのような活動に参加してもらえるようにとお願いをしたところである。

（教育委員）

子供会への加入率は現在どのくらいなのか。

（教育長）

地区による。全体的な加入率は出していないが、大きい地区（麓や神下等）での加入率が

下がっている状況にある。子供会の活性化につながる取り組みを考えているところである。

○協議事項・報告等

(教育総務課 主幹)

学校支援訪問に関して、令和8年度における参観授業計画について説明を行った。また、年5回予定している、「架け橋プログラム」についての実務者委員会の第1回が先日行われたことを報告した。

(教育委員)

実務者委員会に参加したが、綾の自然を生かした、綾らしいものを作っていくという方向性で意見が活発に出ており、とても有意義な時間となった。今後どのように具体的になっていくのか楽しみである。

(教育委員)

架け橋プログラムでの「綾らしいもの」とは、何かの学びのことなのか活動のことなのか、委員会でどのような話が出たか教えていただきたい。

(教育総務課 主幹)

前は第1回目ということもあり、具体的な何かというような話が出てきたわけではなく、各教育施設の「課題」が出てきたところである。

(教育委員)

話の中で出た目的は「聞く力」を養うことであり、そこに綾の自然を活かす、教材化することなのですが、聞いて「考える」というところまで方向性を持っていければ良いと考える。

(教育総務課 主事)

準要保護者の認定について6月時点での追加報告を行った。

小学校：1名 中学校：1名 の追加認定となった。

(教育総務課 主幹)

学校経営案について（今回教育委員へ配布）。小中学校どちらも校長先生が代わられたこともあり、新体制のもと新しい学校経営案が作られている。

(教育総務課 主幹)

多様な学びを考える「保護者のつどい」について。

家庭の孤立化を防ぐことや、保護者の方の相談を受けることを目的として、2年前から始めており年3回開催している。相談内容によって対応人数は変わるが、教育総務課主幹、SSW、SS、警察、防犯協会の5名を設置している。

(教育委員)

対応する職員が全員男性であることが少し気になった。今後のことも含め、女性もいた方が良いのではないかと思う。

(教育総務課 主幹)

検討していきたい。

【視察予定の綾てるはドームへ移動】

- ・最新の放射冷房システム（空調施設）の試運転の様子を視察し、性能や実際の利用時の暑さの軽減がどのように感じられるかなどの説明を受けた。

○閉会